令和３年度第１回　地域ケア会議地域ケア推進部会・高齢者虐待防止ネットワーク部会・地域包括支援ｾﾝﾀｰ運営協議会合同会議

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　と　き　　令和３年８月４日（水）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　午後１時30分～３時

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ところ　　ほっとHOT・中条　よりあい・ふれあい

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　欠席者無し（代理対応２名）。

【合同会議】

１　開会あいさつ

　　　（須貝課長）

　　　委員は引き続きお願いした方、新しくお願いした方がいる。任期終了までお願いしたい。

新型コロナウイルス感染症関連では、胎内市では施設等のクラスターは発生していない。

対応に感謝したい。ワクチン接種は高齢者はほぼ終了した。今後若い世代にできるだけ多く

接種してもらいたい。新型コロナウイルス感染症の影響で思うように事業が進まないが、

形を変えて行っている。

２　合同会議議題

1. 地域ケア会議地域ケア推進部会長及び副部会長、地域包括支援センター運営協議会長及び

副会長の選任について（委員の互選により選任）

・地域ケア会議地域ケア推進部会長、地域包括支援センター運営協議会長：渡辺順先生

・地域ケア会議地域ケア推進副部会長、地域包括支援センター運営協議副会長：宮本忍先生

1. 養護老人ホームの入所措置の判定・報告について

【事務局】昨年度の報告から１名減の36名を措置している。

（渡辺会長）措置数は例年と比較してどうなのか。

　　　　　　⇒昨年度は入所が全くなかった。

1. 高齢者虐待の状況について　　資料１

【事務局】資料1に沿って説明。

　　　　　今後も地域包括支援センター、警察署、地域住民と連携しながら高齢者虐待対応

　　　　　にあたっていきたい。

（渡辺会長）警察への通報は誰がするのか。

　　　　　　⇒被虐待者本人や家族。

（須貝委員）虐待対応の難しさを感じた。毎年、虐待者は息子が一番多いという結果だが、

その対策ができると良いと感じた。

1. 令和３年度認知症施策について　　資料２

【事務局】資料２に沿って説明

　（増子委員代理）認知症で行方不明の方は今年度2名。2名共その日のうちに発見された。

　　1名は防災メールを見た方が警察へ連絡し発見に至った。

　　もう1名はたまたま知り合いが見つけた。

　　どちらの事案も、最初に家族で探した後見つからず警察に届け出たもの。行方が分からなく

なってから時間が経過すると見つかりにくくなる。なるべく早く警察に連絡してほしい。

　　　　（宮本副会長）地域で暮らす高齢者を支えることは、家族や地域住民だけでは限界がきている

ように感じる。広い職種の方が認知症本人を支えていけるシステム作りが必要。

1. 令和３年度新発田地域在宅医療・介護連携推進事業計画について　　資料３・４

【事務局】今年度は「看取り」の場面について重点的に取り組む。

●住民向け出前講座（平野委員より）：令和２年度は、胎内市で３地域45人に実施。

　　　　　令和元年度から実施。人生の最終場面において、どこで生活するか、どのような治療を望むのかを考え、家族と共有するきっかけにしてもらいたい。

３　運営協議会議題

1. 令和２年度事業報告及び令和３年度事業計画について　　資料５

【事務局】令和２年度末の65歳以上人口は10,208人、高齢化率35.99％、要介護認定率18.25％、

　　　　　　　　総合相談件数9,977件、いずれも増加傾向。相談内容で多いものは「介護予防」「介護相談」「高齢者福祉サービス」「医療相談」

　　　　●令和２年度コロナ禍でのフレイル予防の取組について

　　　　　事業報告書の9ページの「高齢者生きがい活動促進支援事業（国庫補助事業）について説明。

　　　　　コロナ禍で日常の不活発を少しでも防ぎたいという思いで、介護予防大作戦として冊子と

DVDを作成した。配付はボランティアにお願いし、47名のボランティアが1,947世帯、

2,702名の安否確認を行った。

事業報告書６ページ（カ）介護予防講演会について説明。

新型コロナウイルス感染症対策のため、生活圏域ごとに実施。

事業報告書７ページ（イ）通いの場について説明。

新型コロナウイルス感染症対策のため活動の自粛があったが、現在はほぼ再開している。

1. 地域包括支援センター運営状況評価の結果について　　資料6

【事務局】令和２年度の調査結果の報告。

　　　　　胎内市及び地域包括支援センターの取組は、概ね全国平均を上回っている。

　　　　　　　　平均を下回っている「地域ケア会議」については、市が主催している地域ケア会議を　各包括と連携しながら毎月実施している。今後も引き続き地域ケア会議を開催し、事例検討の整理分析を通じて、各圏域の地域課題の把握と対応について検討していく。

1. 介護予防支援業務を再委託できる居宅介護支援事業所の指定について　　資料７

【事務局】①「老人介護支援センターしうんじ」：家族の希望

　　　　　②「居宅介護支援事業所えびす」：東京在住の子のところで一時的に生活をするため

　　　　　いずれも既に再委託を行っており、事後報告である。

４　その他

　　第２回の開催は、令和４年２月頃を予定。

（閉会）